

| | | | | | |
|------|---------------|-----------|-------------|--------|------|
| 講義名 | 教育方法論【教職科目】 | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 西尾 範博 / 田邊 良祐 | 開講期・曜日・時間 | 後期 火曜日 3 時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 3 年生 |
| | | | ナンバリング・コード | TTC321 | |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| 主題と概要 | | | | | |
| <p>教職に関する科目（教職課程及び指導法に関する科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成及び編成の方法 ・教科書の編成 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） <p>現在学校教育は大きな転換点を迎えている。学校が存在する理由、教育の内容や授業実践の様式が問題にされ、教師のあり方が厳しく問われている。そういう時代だからこそ、授業実践そのものをより根源的にかつ包括的に問い直す必要があるように思われる。この授業では、日々の教育を対象化して批判的・反省的に検討する新しい知見と視座を提供する。これから求められる授業実践(教育方法)への新しい視座をたもたすことにもなる。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|
| 到達目標 | | | | | |
| <p>学習指導原理の歴史について理解し、説明できる。 学習指導の技術と形態について理解し、説明できる。 教材と学習環境、視覚教育、ICTを活用した教育・学習について理解し、説明できる。 授業分析・授業研究について理解し、説明できる。 教育の評価について理解し、説明できる。 授業実践の形態について理解し、説明できる。 授業づくりに関与するものについて理解し、説明できる。 わかりやすく内容を説明し、興味深くプレゼンテーションできる。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|
| 提出課題 | | | | | |
| <p>毎回、教科書の内容を、パワーポイントスライドを作成して模擬授業形式で発表していただく。小レポート(感想・コメント)の提出も予定している。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法 | | | | | |
| <p>毎回の学生による模擬授業形式によるプレゼンテーションの後、内容に関連した解説と、発表に関するコメントや改善点を示し、指導する。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|
| 評価の基準 | | | | | |
| <p>プレゼンテーションの出来ばえ(60%)、小レポート・発表課題等(40%)とする。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| 履修にあたっての注意・助言他 | | | | | |
| <p>毎回休まず出席することが不可欠。この授業では5回以上欠席した場合は、単位認定の対象外とする。教科科目はA以上の成績を多く取らないと教育実習に行けなくなるので、当日もAまたはBを取得するように毎回の授業に熱心に取り組むこと。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------------|----------------|------|------|---------------|--|
| 教科書 | | | | | |
| .実践に活かす教育課程論・教育の方法と技術論。 | 樋口直宏・林衛尚示・牛尾直行 | 学事出版 | 2200 | 9784761926359 | |

| | | | | | |
|-------------|--|--|--|--|--|
| 参考図書 | | | | | |
| .なし。 | | | | | |

| |
|--|
| その他 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・佐藤孝『教育方法学』(岩波書店、1996年) ・高等学校学習指導要領 ・文部科学省ホームページ *その他、授業中に適宜紹介する予定。 |

| | |
|--|---|
| 授業計画 | |
| 1. 学習指導原理探求の歴史と学習指導の原理（田邊） | （予備）教科書の該当箇所を読み、教科書に書かれていないことも自主的に調べたうえで、模擬授業形式で発表できるようスライドを作成しておくこと（180分） （復習）授業内容を振り返り、授業中に提示された課題に取り組むこと（60分） |
| 2. 学習意欲と動機づけ、指導技術の見方（田邊） | （予備）教科書の該当箇所を読み、教科書に書かれていないことも自主的に調べたうえで、模擬授業形式で発表できるようスライドを作成しておくこと（180分） （復習）授業内容を振り返り、授業中に提示された課題に取り組むこと（60分） |
| 3. 授業の構成要素と学習指導の技術（田邊） | （予備）教科書の該当箇所を読み、教科書に書かれていないことも自主的に調べたうえで、模擬授業形式で発表できるようスライドを作成しておくこと（180分） （復習）授業内容を振り返り、授業中に提示された課題に取り組むこと（60分） |
| 4. 学習指導の形態（田邊） | （予備）教科書の該当箇所を読み、教科書に書かれていないことも自主的に調べたうえで、模擬授業形式で発表できるようスライドを作成しておくこと（180分） （復習）授業内容を振り返り、授業中に提示された課題に取り組むこと（60分） |
| 5. 教材と「教材整備指針」、教科書と副教材（田邊） | （予備）教科書の該当箇所を読み、教科書に書かれていないことも自主的に調べたうえで、模擬授業形式で発表できるようスライドを作成しておくこと（180分） （復習）授業内容を振り返り、授業中に提示された課題に取り組むこと（60分） |
| 6. 視覚教育とメディア、学校施設と設備（田邊） | （予備）教科書の該当箇所を読み、教科書に書かれていないことも自主的に調べたうえで、模擬授業形式で発表できるようスライドを作成しておくこと（180分） （復習）授業内容を振り返り、授業中に提示された課題に取り組むこと（60分） |
| 7. 学習指導要領における情報活用能力の位置づけと情報モラル教育（田邊） | （予備）教科書の該当箇所を読み、教科書に書かれていないことも自主的に調べたうえで、模擬授業形式で発表できるようスライドを作成しておくこと（180分） （復習）授業内容を振り返り、授業中に提示された課題に取り組むこと（60分） |
| 8. 教師によるICT活用、生徒によるICT活用（田邊） | （予備）教科書の該当箇所を読み、教科書に書かれていないことも自主的に調べたうえで、模擬授業形式で発表できるようスライドを作成しておくこと（180分） （復習）授業内容を振り返り、授業中に提示された課題に取り組むこと（60分） |
| 9. 授業分析と授業研究（田邊） | （予備）教科書の該当箇所を読み、教科書に書かれていないことも自主的に調べたうえで、模擬授業形式で発表できるようスライドを作成しておくこと（180分） （復習）授業内容を振り返り、授業中に提示された課題に取り組むこと（60分） |
| 10. 授業分析の対象と方法（田邊） | （予備）教科書の該当箇所を読み、教科書に書かれていないことも自主的に調べたうえで、模擬授業形式で発表できるようスライドを作成しておくこと（180分） （復習）授業内容を振り返り、授業中に提示された課題に取り組むこと（60分） |
| 11. 戦前の教育評価、指導要録と通知表・調査書（西尾） | （予備）教科書の該当箇所を読み、教科書に書かれていないことも自主的に調べたうえで、模擬授業形式で発表できるようスライドを作成しておくこと（180分） （復習）授業内容を振り返り、授業中に提示された課題に取り組むこと（60分） |
| 12. プルーフモデルと到達度評価、真正の評価とポートフォリオ（西尾） | （予備）教科書の該当箇所を読み、教科書に書かれていないことも自主的に調べたうえで、模擬授業形式で発表できるようスライドを作成しておくこと（180分） （復習）授業内容を振り返り、授業中に提示された課題に取り組むこと（60分） |
| 13. 教育科学研究会と書籍書標、水道方式（西尾） | （予備）教科書の該当箇所を読み、教科書に書かれていないことも自主的に調べたうえで、模擬授業形式で発表できるようスライドを作成しておくこと（180分） （復習）授業内容を振り返り、授業中に提示された課題に取り組むこと（60分） |
| 14. 仮説実験授業と極地方式、教育技術の活性化運動、百ます計算と見えぬ学力（西尾） | （予備）教科書の該当箇所を読み、教科書に書かれていないことも自主的に調べたうえで、模擬授業形式で発表できるようスライドを作成しておくこと（180分） （復習）授業内容を振り返り、授業中に提示された課題に取り組むこと（60分） |
| 15. 授業づくりと学習指導案（西尾） | |

| | |
|--------------------------------------|--|
| 授業形態（アクティブ・ラーニング） | |
| ア：PBL（課題解決型学習） | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| ウ：ディスカッション、ディベート | エ：グループワーク |
| オ：プレゼンテーション | カ：実習、フィールドワーク |
| キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | |

| | |
|--|--|
| 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 | |
| <p>商学部マーケティング学科では、企業環境をマーケティングの視点で捉え、現状を改善する努力を持続することができる学生を育てる。本授業でも、自ら学び、自ら判断し、主体的に行動することが求められる。</p> | |

| | |
|---|--|
| 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述 | |
| <p>学生自身によるテキストの内容に基づく模擬授業形式のプレゼンテーション、模擬授業中の高校生役を務める者との双方向性はもちろんのこと、その後の教員の講評や質問、指導など、活発な双方向性を予定している。また、パワーポイントスライド、書籍カメラ等のICTの活用も予定している。</p> | |

| | |
|--------------------|--|
| 実務経験の有無及び活用 | |
| <p></p> | |

| | |
|--|--|
| 備考 | |
| <p>教員免許状取得のための必修科目。授業を担当する教員の分担についてはシラバスに記載したとおりを予定している。</p> | |